

# 平成23年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成23年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 日本ファルコム

コード番号 3723 URL <http://www.falcom.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 近藤 季洋

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 阿部 敬史

TEL 042-527-0555

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年9月期第2四半期の業績(平成22年10月1日～平成23年3月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第2四半期	377	84.2	25		27		15	
22年9月期第2四半期	205	54.4	152		150		89	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年9月期第2四半期	155.75	154.77
22年9月期第2四半期	878.80	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
23年9月期第2四半期	1,687	1,624	96.2	15,923.63
22年9月期	1,996	1,659	83.1	16,267.88

(参考) 自己資本 23年9月期第2四半期 1,624百万円 22年9月期 1,659百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
22年9月期				500.00	500.00
23年9月期					
23年9月期(予想)				300.00	300.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年9月期の業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	1,100	9.4	120	58.2	120	58.5	75	52.8	735.29

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料]P.2「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有  
以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年9月期2Q	102,000株	22年9月期	102,000株
期末自己株式数	23年9月期2Q	株	22年9月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	23年9月期2Q	102,000株	22年9月期2Q	102,000株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.2「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
( 2 ) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
( 3 ) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2 . その他の情報 .....	2
( 1 ) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	2
( 2 ) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
( 3 ) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3 . 四半期財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期損益計算書 .....	5
( 第 2 四半期累計期間 ) .....	5
( 第 2 四半期会計期間 ) .....	6
( 3 ) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
( 4 ) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
( 5 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
( 6 ) セグメント情報 .....	8

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当社はコンテンツメーカーとして、オリジナリティあふれるゲームコンテンツ及びサービスの創出を行い、その魅力を様々な分野・プラットフォームを通じて世界中のお客様にお伝えすることに努めております。

当第2四半期累計期間の製品部門におきましては、平成22年9月30日にプレイステーションポータブル(以下「PSP」という。)向けに発売した「英雄伝説 零の軌跡」が引き続き好調に推移しました。

この「英雄伝説 零の軌跡」と、「英雄伝説 空の軌跡FC」、「イースSEVEN」、「イース フェルガナの誓い」のゲーム内容をお楽しみ頂ける無料版の配信を開始し、より多くの方々への販売促進活動を推進いたしました。

また、ロングセラー中の「空の軌跡」シリーズの全3部作「英雄伝説 空の軌跡FC」、「英雄伝説 空の軌跡SC」、「英雄伝説 空の軌跡the3rd」を「PSP® the Best」シリーズとして発売した他、「イース」シリーズはPSP製品をセットにした「イーススーパープライセット」を発売しました。

その結果、製品部門の当第2四半期累計期間の売上高は287百万円(前年同期比91.0%増)となりました。

ライセンス部門におきましては、携帯電話におけるオンラインゲームの配信を開始したほか、当社が有する3,915曲に及ぶ人気楽曲のiTunes store等の音楽ダウンロード販売サイトを通じた当社楽曲の販売、携帯電話機向けのゲームダウンロード販売、攻略本等の出版許諾など、当社コンテンツの多方面への展開を推し進めました。その結果、ライセンス部門の当第2四半期累計期間の売上高は90百万円(前年同期比65.6%増)となりました。

それらの結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は377百万円(前年同期比84.2%増)、営業利益は25百万円(前年同期は152百万円の損失)、経常利益は27百万円(前年同期は150百万円の損失)、四半期純利益は15百万円(前年同期は89百万円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は1,687百万円となり、前事業年度末と比較して308百万円の減少となりました。これは主に売掛金が減少したこと等によるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債は63百万円となり、前事業年度末と比較して273百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等及び買掛金が減少したこと等によるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産は1,624百万円となり、前事業年度末と比較して35百万円の減少となりました。これは利益剰余金が配当により51百万円減少したものの、四半期純利益を15百万円計上したためであります。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して176百万円増加し、1,505百万円となりました。各キャッシュ・フローの主な状況は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は226百万円(前年同期は55百万円の増加)となりました。これは主として、税引前四半期純利益を28百万円計上したこと及び売上債権の減少471百万円による資金増があったものの、法人税等の支払額が114百万円あったこと、仕入債務が105百万円減少したこと、未払消費税が24百万円減少したためであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は63千円(前年同期は2百万円の減少)となりました。これは敷金保証金の差入による支出63千円があったためであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は49百万円(前年同期は30百万円の減少)となりました。これは配当金の支払いによる支出が49百万円あったためであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年9月期の業績の見通しにつきましては、PSP向け新製品である「英雄伝説 碧の軌跡」の発売により、売上高1,100百万円、経常利益120百万円、当期純利益75百万円を見込んでおります。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期累計期間の「営業利益及び経常利益はそれぞれ166千円減少し、税引前四半期純利益は692千円減少しています。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,505,269	1,328,874
売掛金	39,868	510,974
製品	1,447	2,198
原材料	7,254	7,732
その他	45,797	47,092
貸倒引当金	1,637	3,236
流動資産合計	1,598,000	1,893,636
固定資産		
有形固定資産	13,803	16,277
無形固定資産	8,571	9,887
投資その他の資産	67,336	76,438
固定資産合計	89,711	102,603
資産合計	1,687,712	1,996,240
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,885	119,212
未払法人税等	1,365	118,235
賞与引当金	13,500	17,250
その他	34,751	82,219
流動負債合計	63,502	336,916
負債合計	63,502	336,916
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	162,530	162,530
資本剰余金	317,763	317,763
利益剰余金	1,143,916	1,179,030
株主資本合計	1,624,209	1,659,323
純資産合計	1,624,209	1,659,323
負債純資産合計	1,687,712	1,996,240

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
売上高	205,147	377,934
売上原価	82,421	97,703
売上総利益	122,725	280,231
販売費及び一般管理費	274,782	254,253
営業利益又は営業損失( )	152,056	25,977
営業外収益		
受取利息	258	166
未払配当金除斥益	1,139	1,058
営業外収益合計	1,398	1,224
経常利益又は経常損失( )	150,657	27,201
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	1,599
特別利益合計	-	1,599
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	526
特別損失合計	-	526
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失( )	150,657	28,274
法人税、住民税及び事業税	265	265
法人税等調整額	61,285	12,123
法人税等合計	61,020	12,388
四半期純利益又は四半期純損失( )	89,637	15,886

(第2四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期会計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
売上高	76,283	82,172
売上原価	35,056	24,929
売上総利益	41,227	57,242
販売費及び一般管理費	141,479	120,247
営業損失( )	100,251	63,005
営業外収益		
受取利息	258	166
営業外収益合計	258	166
経常損失( )	99,992	62,839
税引前四半期純損失( )	99,992	62,839
法人税、住民税及び事業税	132	12,482
法人税等調整額	40,686	8,033
法人税等合計	40,554	20,516
四半期純損失( )	59,438	42,322



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ( )	150,657	28,274
減価償却費	10,147	3,789
貸倒引当金の増減額(は減少)	10,459	1,599
賞与引当金の増減額(は減少)	1,350	3,750
受取利息及び受取配当金	258	166
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	526
売上債権の増減額(は増加)	341,670	471,106
たな卸資産の増減額(は増加)	19,700	1,228
その他の資産の増減額(は増加)	17,297	2,189
仕入債務の増減額(は減少)	40,170	105,326
未払金の増減額(は減少)	49,322	22,127
未払消費税等の増減額(は減少)	11,319	24,553
その他の負債の増減額(は減少)	1,936	4,188
小計	70,262	341,024
利息及び配当金の受取額	258	166
法人税等の支払額	14,606	114,830
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,914	226,360
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	2,349	-
敷金及び保証金の差入による支出	-	63
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,349	63
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	30,001	49,902
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,001	49,902
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	23,563	176,395
現金及び現金同等物の期首残高	1,180,060	1,328,874
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,203,624	1,505,269

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

当社はゲーム開発・販売の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。